

湖南省議会議員



赤祖父ゆみ

9月議会報告書

NO. 29

2010年 10月

無断での複写・転用を禁じます。

♪ ご意見お待ちしております。

【発行責任者：赤祖父ゆみ】

事務所&自宅：湖南省宝来坂3丁目7-20 TEL/FAX 0748-77-5437



暑かった夏もようやく終わりを告げ、私の大好きなキンモクセイの香りと共に、秋の訪れを感じています。今年も、さわやかな青空の下、各地で運動会が繰り広げられました。私も参加をさせていただきましたが、一生懸命演技する姿は、皆さん自信に満ち、輝いていました。スポーツっていいですね。

9月3日から始まりました9月議会が27日に無事閉会しました。決算議会となった今議会では、その審議方法について、より深く審議し、予算に繋げていく事が重要とする観点から、予算決算常任委員会を設け、委員会に付託していく事となりました。議会運営委員会ではさまざまな意見が出され、

決定してきましたが、初めての委員会という事もあり、改善点も出てきましたので、引き続き議会運営委員会の中で、より効率的な議論の方法について方向性を見出していきたいと思えます。また、市民の代表としての議員のあり方や、いったい議員は何をしているのか？など、もっと身近に感じていただけるように改革していかなくてはなりません。今議会において、「議会改革特別委員会」が設置され、「議会基本条例」を視野に入れた改革を進める事と決定しました。湖南省独自の条例「自治基本条例」の策定に今度こそは繋げていきたいと私は思っています。議員生活7年となります。これまでは議会報告書の配布と報告会を毎回欠かさずことなく開催していましたが、報告会については残念ながら、来ていただける方が少ない事から、開催を見合せています。情報化社会の中、インターネットを利用し誰でも見ていただけるようホームページ作成に現在取り組み試案中です。ご期待ください。合併をして6年。合併特例債を利用した学校の耐震工事や、道路整備事業など大きな事業が進み街は住みよくなってきましたが、起債も増えてきています。平成27年には大きく高齢化率が進み、経済不況に伴い、企業収益の悪化による法人税の落ち込み、また平成26年度で合併による有利な普通交付税措置が削減される事も重なり、今後ますます財政が厳しくなる事が予想されます。市民の皆様には納得のいく説明が最も必要になってきていると私は思っています。

予算・決算常任委員会

平成21年度決算

歳入	201億3644万
歳出	195億8794万
差引	5億4850万

繰越財源 1億1324万円あり、実質収支は4億3526万円黒字となりますが、財政調整基金への積み立てを**2億8000万円**するため、平成22年度繰越は**1億5526万円**となりました。

特徴的なものとして、経済情勢の悪化に伴い法人税が**49.1%**と半減し、現年度分の収納率は市税全体で**0.9%**下降しています。

生活に困窮する世帯が増加する中、民生費も前年対比4億8595万円増加。これらについては、**国の国庫支出金、県支出金**の緊急雇用創出特別推進事業やふるさと雇用再生特別推進事業などに頼るほかありませんでした。また自主財源は前年度対比**7.9%の減**となり、依存財源は大きく**46.4%増**という結果となりました。

まだまだ高い！ 経常収支比率！

今回示された4指標（実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率）はすべてクリアされていました。しかしながら、依然経常収支比率は1.5ポイント改善されたとしても**94.6%**と硬直化は継続しています。今後を試算しても世界的な経済不況などにより税収の落ち込みや義務的経費（人件費、公債費、扶助費）の増加が見込まれ、ますます厳しい状況が予想されます。

合併による普通交付税措置が**平成26年度**からなくなる事もあり、改革を実行しなければ、**約9億2千万円の赤字**が予想され、増税策を提案していく事はもちろん大切な事ですが、「できること」「できないこと」を明確にし、市民との役割分担を捉えながら、理解し納得した**市民との協働による改革**を推進していかざるを得なくなってきています。

福祉・教育常任委員会

診療所基金、底をつく！！

石部医療センターは、建設当初は1億5000万円の赤字経営でしたが、現在では、一般会計からの繰入金は**3500万円**と改善されました。がしかしながら、毎年国民健康保険診療所財政調整基金からの取り崩し経営であり、今年度も1億8180万ある基金を8774万円取り崩しています。平成22年度末では、**残が4500万円**となり、平成23年度には基金が底をつく見通しです。起債償還分もまだ2億313万円ほど残っています。これ以上の一般会計からの繰入金は現在の経済状況から考えてもとうてい不可能であり、地域医療のありかたを今後どうしていくのか？が問われる分岐点にきています。今後もお診療科目の見直しや、起債の借り換え、医師住宅の取り扱いなど、改善すべき点は努力し、この病院を地域の病院と連携しながら、地域医療に重点を置いた病院としてなんとか存続していく方向で考えてほしいと意見しました。

湖南省には診療所が4つありますが、夏見、岩根診療所については、地域に定着してきており、時期を見て民営化についての議論も必要となってきています。

国民健康保険給付費 27億円 5.2%増

国民健康保険税の歳入不足、医療費の増大などを受け、平成21年度に赤字決算を余儀なくされ、財政状況を改善すべく、財政診断を受け、湖南省国民健康保険財政健全化計画を策定し、税の値上げもされたところですが、**1億3437万円**が歳入歳出差引不足となり、平成22年度より繰上充用することとなりました。基金は0という状況です。

現年度分の収納率は**87.51%**と88%を割り込み、滋賀県でも最低となってしまいました。収納率に対するペナルティとして、交付金が720万円減額されています。一般会計からの繰入金は前年度比**3.1%増の2億5348万円**。

まず市民に出来る事は、**健康でいる事**です。



一般質問

学校支援地域本部事業の継続について

問 岩根小学校のコミュニティスクールの成果について

答 学校運営協議会で決定された取り組みとして、家庭学習が成立しない子ども達に対しての土曜教室の取り組みがあり、地域の退職教職員や大学生ボランティアで、学習支援を行い、学習意欲が少しずつ上がってきています。地域の意識も広報誌「コミュニティだより」の全戸配布などを通して、少しずつ認知いただいています。

問 学校支援地域本部事業で人的、物的支援を行っていただいておりますが、ボランティアを結ぶコーディネーターの存在はより重要と考えます。この事業が今年度で終了となりますが、継続が必要だと思いますが。

答 学校支援本部事業は重要と考え、コーディネーターの役割は必要不可欠であると充分認知しています。何らかの方法で維持できるよう努力したい。

問 この事業を広めていこうと考えていますか？他校の取り組みは。

答 この事業は、すでに岩根小、石部小、菩提寺北小、石部南小が事業を採択しており、今年度、水戸小、菩提寺小が採択しました。残る下田小、三雲小、三雲東小についても、学校や地域の考えを大切にしつつ、協働の取り組みが進む中で考えていきたい。



岩根小学校
屋上プールだよ

雨山研修館・福祉パーク館の利用促進は

問 現在の利用状況について伺います

答 雨山研修館・・・平成20年度が70件、平成21年度は81件、利用者数は135人減っています。

福祉パーク館・・・平成21年度は述べ183時間使用されており、約80%が減免使用となっています。

問 利用促進に対する取り組みは

答 雨山研修館・・・市のホームページ、びわこビジュアルビューローでのPR
福祉パーク館・・・図書館と連携し福祉パーク館ホールの利用促進に努めています。

問 企画・立案をする人は配置していますか？指定管理者との契約は管理のみとお聞きしましたが、本当ですか。

答 歴史的背景の中、管理のみの指定管理者との契約になっています。

問 担当課との関わりについて

答 積極的に指定管理者と連携をとっています。行政改革推進室と石部公共サービス株式会社との日常の情報交換を密にし、管理問題点についても実地調査、現場立会協議を行っています。

問 石部公共サービス(株)と財団法人湖南省文化体育振興事業団の統合について

答 共に施設管理という同様な活動を行っている団体が市内に2つ存在している現状です。平成25年11月末には公益法人制度改革における公益法人か一般法人化への移行期間が終了します。本市においても両団体の今後のあり方について方向性と方針を示していく時期に達していると考えております。



民主党女性議員ネットワーク

韓国視察

平成 22 年 8 月 24 日～27 日



宮城県議会議員の呼びかけにより、7年越しの願いだった韓国視察が実現をして、全国の民主党女性議員ネットワークの県会議員、市議会議員11人が地元福祉関係の先生、通訳の方を交えて、2日間で8施設を視察してきました。韓国でも日本と同様、貧困層が増え、高齢化率は日本を抜いたということです。学歴社会が進む中、いい大学に通わせるために親は一生懸命働くということでした。キリスト信者は国民の40%弱ということもあり、高齢者総合センター、NPO法人の未婚母子施設福祉施設は企業や個人からの寄付で成り立っていました。梨花大学校内にある総合福祉センターは、子どもの居場所づくりなどボランティアとして学生が関わっているのが印象的でした。ソウル市会議員との食事会も行われ、他国の女性も共に頑張っている様子を知り、頼もしく勇気をいただきました。急遽ソウル市議会を傍聴する機会を得、興味深く拝見しました。画面が前方に大きく映し出されたり、議決もボタン式であったりとIT化が進んでいました。

この経験を踏まえ今後の議会活動に反映していきたいと思ひます。



活動報告

- 7月16日 伊賀市議会改革会派研修
- 17日 西寺「いもち送り」参加
- 20日 議会運営委員会
- 21日 民生委員推薦委員会会議
- 27日 臨時議会・ふれあい広場会議
- 30日 消防団練習激励・モラロジー研修
- 8月3日 議会運営委員会
- 4日 福祉教育常任委員会
- 5日 コミュニティ・スクール推進協議会
- 6日 宮の森防犯灯視察
- 7日 平和のつどい・湖南省夏祭り
- 8日 自治基本条例を考える in 野洲
- 11日 議会運営委員会
- 17日 いべっく会議
- 19日 会派会議
- 21日 宮の森・岡出夏祭り参加
- 22日 西区・宝来坂夏祭り参加
- 28日 地元学講座参加
- 9月3～27 定例議会
- 3日 岩根小学校竣工式
- 5日 びわこクリーンキャンペーン(連合)
- 11日 石部中・日枝中学校運動会
- 12日 青少年指導支援の会・宝来坂敬老会
- 18日 石部南・石部小学校運動会
- 22日 民生委員推薦委員会
- 23日 立入前議員旭日双光章記念式典
- 25日 阿星保育園運動会・連合滋賀役員研修会
- 26日 スポーツカーニバル
- 10月2日 石部南幼稚園・光星学園運動会
- 3日 いしべ南学区防災訓練
- 13日 湖南省職員労働組合定期大会



7/16 伊賀市会派研修

7/25 バーベキュー大会



8/1 消防操法訓練大会

8/29 ソフトシニア開会式